

一般質問発言通告書

発言順位 7番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和3年11月25日

三島市議会議長 川原章寛様

三島市議会議員 6番 古長谷 稔

質問事項1	イメージ戦略として「朝のまち三島」という打ち出し方ができないか
具体的内容	既に1年半経過したコロナ禍の影響で、夜ではなく、朝早くから活動する人が増えていると感じる。三島市内を流れるせせらぎ沿いに、朝、散歩をする人も多い。三島市観光協会も、新企画としてデジタルイラストマップを使った「朝旅」を10月下旬から始めている。朝のまち三島には、日中とは違った独特の空気感がある。朝の散歩は健康的なイメージにもつながり、スマートウェルネスとも相性が良いし、まちの中を歩くのでガーデンシティとも相性が良いと思われる。前泊してもらえれば、宿泊や夜の飲食等の売り上げにもつながる。歌川広重の東海道五拾三次の中でも、「三島朝霧」として朝の三島が描かれている。移住してくる方々への発信としても、朝のクリーンなイメージは、プラスに働くように感じる。ポストコロナを見据えて、市としての新たなイメージづくりが有効な時期と考えるが、効果的に発信していくには、公的機関が足並みを揃えて取り組む必要がある。大切なのは行政の信用と発信力で、必ずしも予算を取らずとも、行政が方針を示せば、民間は動ける。他市と差別化するイメージ戦略として、これから「朝のまち三島」という打ち出し方ができないか、関連事項を伺う。
	1 観光協会の取り組みの背景、現在までの移住者数の推移、三島市内の宿泊人数の推移、今後の見込み設定について伺う。
	2 朝ごはんを提供する店舗数など、朝営業する店舗数を基礎データとして把握できないか。
	3 楽寿園や三嶋曆師の館等への朝の入場や、観光案内ガイド等の朝対応を検討できないか。
	4 行政としてPRイベント的な取り組みから始められる可能性はないか。
	5 他市と差別化するイメージ戦略として、「朝のまち三島」という打ち出し方ができないか。
質問事項2	三島駅南口東街区再開発に関する説明会での説明について
具体的内容	議会として去る10月21日に説明を受けた。計画の変更点等が示されたが、不明点が多々あるため、以下伺う。
	1 ファルマバレーの機能や、県立がんセンター、医師会、ウーブンシティなど、広域健康医療拠点を実現するための導入機能に対する外部との連携について、調整の現状を伺う。
	2 7割近い土地を所有する最大地権者として、再開発事業組合の理事に入らないと聞くが、事実関係とその理由、弊害に対する考え方、いつまで入らない状態を続ける考えか伺う。
	3 渋滞が心配されるため、周辺の交通処理をどう計画しているのか交通計画の現状、公安(県警)との事前協議の進捗を伺う。
	4 地下構造の評価について、組合が行なった地下構造調査の結果についても報告書を一地権者として市が提出を求めるべきと考える。できないのであれば理由は何か伺う。
	5 高層建築物の評価として、耐震安全性などを建築審査会が審査した結果、万が一、直接基礎ではできないとなった場合の対応方針を伺う。
質問事項3	大場耕地の可能性調査結果を踏まえた今後の展望について
具体的内容	大場耕地の開発について、この間、可能性調査が行われ、調査結果をもとに説明会が大場地区で開催されたと把握している。得られた成果と今後の展望について、以下伺う。
	1 可能性調査の結果を踏まえ、得られた成果をどう捉えているか、また、今後の展開について、どのような方向性を考えているかを伺う。